

Oh!Me

インターネットと連動した
【滋賀生活情報紙】



新毎日新聞

この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています

滋賀ガイド www.gaido.jp

vol.548・1月22日号 毎週木曜発行 **4面にプレゼント情報!**

●Oh!Me 編集室／株式会社ヤマブラ：近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-34-8927
●広告／滋賀毎日広告社：大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603 発行部数：100,000部
●発行／毎日新聞大阪本社開発宣伝部：大阪市北区梅田3-4-5

1通の手紙が開いた 素晴らしい音楽人生



北川さん(右)とバイオリニストの玉井菜保さん

素敵
な人

きたがわ えみ
ピアニスト 北川 恵美さん
(竜王町在住・42歳)

2月15日にびわ湖ホールでソロリサイタルを開くピアニストの北川恵美さん。小学4年生で関西フィルハーモニー管弦楽団と共演、6年生でヤマハの音楽コンクールグランプリに輝くなど、幼いころから才能を発揮してきたが、プロへの道を輝かしいものにしたのは、芸大卒業後に出した1通の手紙だった。

「手紙届いたのは奇跡」

東京芸術大を優秀な成績で卒業したが、音楽で生きていく道を模索し、アルバイトで生活しながら室内楽団を結成した。1年間活動したが、自主公演をしているだけでは道は開けないと思い、留学を決意。ドイツ国立フライブルク音楽大学の教授だったティボー・ハザイさんの活躍を知り、手紙とともに自分の演奏の録音テープを送った。

後日、ハザイさんから返信があった。住所やつづりにたくさんの間違いがあったといい、「あなたの手紙が届いたのは奇跡だ」と聞かされた。ハザイさんから「自分のところへ来なさい」と言われ、フライブルク音楽大学大学院を受験。試験官の満場一致で合格した。



北川さんは、ハザイさんから「音楽は豊かで楽しいものであり、普段の日常生活、人間の精神と深く結びついたものである」という考え方を学んだ。

3人の師に導かれて

ハザイさんの他に北川さんにとって忘れることのできない音楽の師が2人いる。

最初の師は、子どものときに受けた音楽コンクール審査員だった相愛大学教授の児嶋一江さん。児嶋さんの指導は厳しかったが、音楽の基礎を徹底的に叩きこまれ、生演奏、CD、コンサート問わず、一流の音楽に触れることの大切を覚えてもらった。

第2の師は、児嶋さんの師匠にあたる東京芸術大名誉教授の小林仁さん。小林さんからは音楽に対する謙虚な姿勢を教えられた。

「児嶋先生が音楽の基礎を、小林先生が音楽の面白さを、そしてハザイ先生は言葉でなく、音楽で通じ合う喜びを教えてくださいました。自分にとって大切な時期に大切な先生に出会えたことで、今の私があります」

生に出会えたことで、今の私があります」

来月15日に ソロリサイタル

フライブルク音楽大学大学院を首席で修了した北

川さんは、帰国後、関西を中心に精力的にソロやアンサンブルのリサイタルをこなし、メルボルンで日豪親善演奏会に出演するなど、実力派ピアニストとして頭角を現した。

2001年度平和堂財団芸術奨励賞を、14年度滋賀県文化奨励賞をそれぞれ受賞。現在、大阪音楽大、同志社女子大、石山高校音楽科、相愛中学校音楽進学コースで講師を勤めている。

来月15日には、びわ湖ホールでソロリサイタルを開く予定で、スターリンの独裁政治下で強く生きたショスタコーヴィチ

とプロコフィエフ2人のロシア作曲家のソナタ、プレリュード、バレエ音楽などを演奏する。「激動の時代を強く生き抜いた2人の音楽から、厳しい時代を生きる私たちの希望となる何かを感じてもらえたらうれしいですね」

(取材・福本)

北川恵美ピアノリサイタル

【曲目】ショスタコーヴィチ
／ピアノ・ソナタ第1番 op.12
／24のプレリュード op.34
プロコフィエフ
／ロメオとジュリエット ピアノのための10の組曲 op.75
■場所：びわ湖ホール 小ホール(大津市打出浜15-1)
■開演：14:00(開場13:30)
■料金：一般3,000円 学生2,000円

問い合わせ

しがぎん経済文化センター
● 077-526-0011



滋賀生活情報紙「Oh!Me」はお近くの毎日新聞販売店からお届けしています。

毎日新聞のご購読申し込みは

フリーダイヤル 0120-468-012

美しき装丁本と
絵で見る愛の世界

見つめて、シェイクスピア!展

2/7sat - 4/5sun

観覧料

【一般】 1,000円(800円)
【高大生】 650円(500円)
【小中生】 450円(350円)

※()内は、前売および20名以上の団体料金



シェイクスピア生誕450年を祝い、各国のデザイナーが腕を競った装丁本約80点とシェイクスピア劇の世界を描いた絵画や挿絵約190点を展覧します。

ジョン・シモンズ『(夏の夜の夢) パンクと妖精たちに囲まれたハーミア』

速水御舟「洛北修学院村」

岸竹堂「猛虎図」

滋賀近美30年の至宝展

Tresures from the Museum's Collection of Three Decades

1/24 sat - 2/1 sun

観覧料：無料
(常設展示も無料です)

当館の開館30周年を記念して開催する特別展。近代の日本画、郷土滋賀県ゆかりの美術、現代美術の3分野から当館が収集してきた名品中の名品ばかりを一堂に集め、無料公開します。

同時開催 『受け継がれゆくいにしへの美—よみがえった琵琶湖文化館収蔵品—』
主催：滋賀県教育委員会 / 滋賀県立琵琶湖文化館 / 滋賀県立近代美術館 ※本事業はマザーレイク滋賀応援基金の寄付金によって実施しています。

THE MUSEUM OF MODERN ART, SHIGA
滋賀県立近代美術館

〒520-2122 滋賀県大津市瀬田南大萱町1740-1(文化ゾーン内)
TEL 077-543-2111 ホームページ <http://www.shiga-kinbi.jp/>

開館時間 9:30~17:00
(入館は16:30まで) / 月曜日休館

